

ふれあい

平成25年12月 第330号
 大代地区コミュニティ推進協議会
 (広 報 部)
 事務局：大代地区公民館
 TEL 022-364-8442

掲載目次

- 市の防災訓練に参加して・・・1
- 秋の貞山運河周辺清掃を終えて・・・2
- 新仙台火力発電所を見学して・・・2
- 秋まつりを実施して・・・3
- 震災後の大代の今・・・3
- ふれあい短歌、お知らせ・・・4

大代地区の世帯数(平成25年10月31日現在)：東区348、中区323、西区307、北区119、南区589、合計1,686

市の防災訓練に参加して

大代南区町内会

会長 橋本 浩

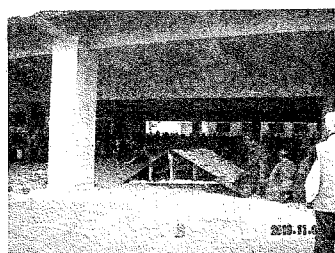
去る11月4日(月)多賀城市総合防災訓練が行われ、大代5区では、大規模災害時の避難場所である多賀城東小学校に避難、集合し、体育館及びグラウンドに集まって各種の訓練を行いました。

その日は、朝から小雨模様で参加者が少ないのではないかと心配しましたが、皆さん防災意識が高く、参加者数は、5区合わせて約380名でした。今回、大代5区がまとまって訓練することについて、各区長や市の担当者と何度も話し合い、3・11を踏まえた内容にしていくと調整して行った訓練でした。

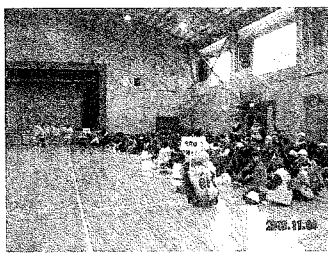
実施した訓練は、まず午前8時30分宮城県沖で地震が発生し、津波の恐れがあるという想定で行われました。各区では、サイレンの合図とともに避難訓練が開始され、安全な経路を通って、東小学校に集まってきました。各区が体育館下の広場に集合した後、東小学校長の指示で体育館に入り、市役所の担当者の指示・説明により、人員確認後の避難所の設置、運営について訓練を行いました。これは、避難所に集まった後、避難所の運営や生活における体制づくりや行政と連携を図る基本となる行動について体験するものでした。

その後、体育館下の広場及びグラウンドにおいて、自衛隊員による救助救出訓練の見学、消防署の指導による濃煙体験、応急救護訓練、初期消火訓練(バケツリレー)を行いました。今回の訓練に際し、市当局、消防署、自衛隊、各団体からご協力をいただき心から感謝申し上げます。

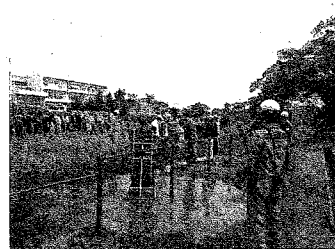
今後も小さい子供や高齢者、一人暮らしのお年寄りなど災害弱者と言われる方々を地域全体で見守ってまいります。また、大代5区長会の防災協定に基づき、困った地区があったら、互いに助け合うための情報交換を5区長会で行っていくことを確認し合いました。



自衛隊員の救出訓練を見学



市職員の説明を聞く住民



住民による初期消火訓練



消防署員と応急救護訓練

秋の貞山運河周辺清掃を終えて

大代コミュニティ推進協議会

生活安全部長 荒木 慶蔵

10月13日(日) 秋の貞山運河周辺清掃を行いました。この日は、少々肌寒い気温でしたが、天候にも恵まれ、午前6時から予定どおり実施することができました。開始にあたり、熱海会長から、参加した皆さんに感謝と御礼の言葉がありました。今回は、春の清掃時よりも多い41名の方が参加しました。実施箇所について、今回から一部経路を変更しましたが、各町内の主要な道路周辺を大変きれいにさせていただきました。

集まったゴミは、たくさんありましたが、ゴミの分別もすっかりやっていたいただいたお陰で、最終分別も短時間で終了することができました。心から感謝申し上げます。

今後とも、私達の力で大代地区の景観ときれいな環境を守っていききたいものです。ありがとうございました。



美化活動に取り組む皆さん



最終分別を丁寧にを行う皆さん

新仙台火力発電所を見学して

大代東区 佐藤 捷逸

防災協議会委員として、11月7日(木) 新仙台火力発電所を見学しました。建設中の火力発電所を見学して感じたことは、地域住民として、見学する機会があれば、まず見学すべきであると思いました。企業は、絶えず安全と利潤を追求して発展していますが、その一端を紹介したいと思います。

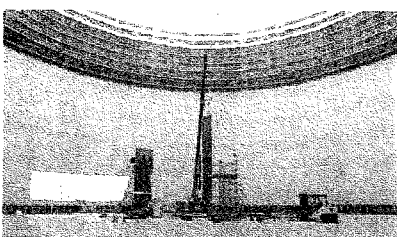
現在、3号機を建設中ですが、震災の経験を踏まえて、地震、津波等の災害に対する備えは、より堅固にしているということでした。直径80mあるというLNG(液化天然ガス)タンクの基礎部分に、津波衝撃波からタンクを守るため、直径60cmの鉄筋を現在地から秋保温泉まで続くぐらいの長さの鉄筋を打ち込んでいるということでした(トータルの長さ)。また、タンクの大きさにも驚くものがあります。タンク内はソフトボールができる程度の広さで、高さ54m、容量は16万klあるそうです。外壁の厚さは60cm、何本ものワイヤーで津波の破壊力に耐えられるように固定された構造でした。写真に写っているクレーン作業は、外壁の内部に鉄板を貼り付けている作業です。3号機の発電出力は、98万kw、熱効率60%(以前は40%)、蒸気タービン(排熱を回収し蒸気にして利用)などで効率を上げ

げる機構でした。最も古い1号機は平成28年までに廃止、2号機は平成23年に廃止済みで、燃料はいずれも重油でした。建設中の3号機の燃料は、LNGで有害な硫黄酸化物や煤塵を排出しないと言われています。

著大なプロジェクトを見学し地域住民として考察すると、隣接している原油タンクから火災が発生した場合、マイナス160度で液体化しているガスタンクは、輻射熱による影響はないのだろうか？

平成15年9月26日に十勝沖地震が発生した際、地震発生から54時間後に出光興産の許容量3万klのタンクから火災が発生しています。また、東日本大震災では、JX仙台製油所でもタンクの爆発火災で大代地区住民も避難しております。

何気ない日常生活の中でも、危機管理を他人任せにせず、自分のこととして危険に思う意識を共有してもよいのではないかと感じました。また一消費者として、これからもクリーンなエネルギーを大切にしていきたいと思っています。



巨大な貯蔵タンクの内部

秋まつりを実施して

大代地区コミュニティ推進協議会

地域づくり部長 白浜 宣子

去る11月9日(土)大代地区公民館において、秋まつりを開催しました。今回の秋まつりは、コミュニティ推進協議会として始めて行った事業で、多くの子どもたちが集まって、子ども同士や、地域の大人たちとの交流を図り、大いに楽しんで貰おうというものでした。実施したイベントは、パン食い競争、輪投げ競争、的あてキックボール競争、ストラップ作りなどでした。また、販売コーナーも設け、おにぎり・飲み物や綿菓子を格安で販売しました。参加(来館)者数は、112名と予想した以上に人が集まり、子どもたちの声が館内全体に響き渡るほどにぎわっておいりました。ご協力いただいた方々に心から感謝申し上げます。

今回の秋まつりは、秋も深まった時期の開催であり、室内だけのイベントとなりましたが、次回開催する際は、館外も使った催しや、子供会や他の団体とも協力した内容で実施していきたいと思っております。今後とも地域の方々に役立ち、喜んでいただける事業を計画してまいりますので、ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。



大人気だった綿菓子コーナー



頑張って輪投げをする小さい子ども



みんなで楽しんだパン食い競争



にぎやかだったストラップづくり

震災後の大代の今

大代南区 星 繁子

酷暑の夏も過ぎ、ほっとする間もなく台風1号が発生し、以来26号、27号、30号と国内では伊豆大島、海外ではフィリピンと大震災並みの被害で苦しんでいます。東日本大震災を思い出し、わが身に置き換えることも胸が痛みます。今、何もできない私ですので、募金をしようと思っております。あの時、国内

は勿論、世界中からいただいたご支援は決して忘れるものではありません。

さて、当地大代も震災から2年8ヶ月が過ぎました。復興は、少しずつ進んでおり、何より公民館が再開し、活動の拠点になっています。震災直後の夜は、漆黒の闇で、津波で荒れた緑地帯が傍らにあり、不気味でもうここには住めないと思っていました。今は、街路灯組合の皆さんのご尽力で、夜でも明るい街が戻ってきました。災害速報もポチポチのようですが、「いざ」という時に頼れる放送を願っています。また、貞山運河河川の工事ですが、まだ進んでいないようで、常時満潮の状態で大雨が降る度に住宅が浸水し、安心して住めません。お墓に通じる道路も応急工事の割に大型車両が行き交い、地盤が弱性なのか、地震のように感じます。ここは、道路の役割だけでなく護岸の役も果たしていると思います。昔は、矢板を打って土留めにしたようですが、今は交通量も多く、震災の地盤沈下もあり、状況が変わってきたようです。頑丈な護岸工事と道路の整備を切望するのは沿岸に住む住民の願いです。沿岸数か所に設置された排水ポンプも緊急時に役立ち、浸水から街を守ってくれるよう点検をお願いします。災害は自助・共助・公助と言われていますが、私は自助を基本としています。しかし、

どうしてもテレビの報道だけでは判断が難しく、また地域によって状況が違いますので、迷ってしまいます。的確に放送してくれる身近な情報が欲しいです。それにより、多くの方の自助も可能になると思います。・・・いろいろ復興について述べさせていたいただきありがとうございます。住み良いまちづくりに少しでもお役に立てば幸いです。

ふれあい短歌 (望郷)

大代西区 藤田 遊子

山道を 独り通いし通学路

草木に埋もれ 通る人なし

久々に 故郷の母校を訪ぬれば

廃校となりて 草木に埋もれり

お知らせ

○ボウリング大会のについて

日時 平成25年12月15日(日)

午後0時30分～午後3時頃まで

場所 コロナキャットボウル仙台店

TEL 387・5519

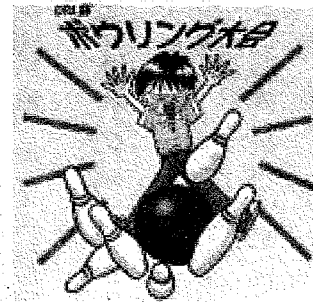
参加料 大人 1500円

小中学生 1000円

表彰 大人男子・女子、子どもの3部門

各部門別1位～3位

その他 飛び賞、BB賞、参加賞
参加申込 参加料を添えて、12月5日(木)
まで公民館窓口にご直接お申し込みください。



○子どもの広場について

小中学生の冬休みの間、子どもたちに、室内ゲームや運動の場を提供し、地域の大人たちとの交流を図り、健全な育成を応援する事業を企画しました。

子どもたちと一緒に運動したり、遊んであげたり、学習のお手伝いをしていただける方を募集しています。

ご協力いただける方は、公民館の窓口又は電話(364・8442)でお知らせください。お待ちしております。

実施日時 ①平成25年12月21日(土)

午前9時から午前12時まで

②平成25年12月25日(水)

午後1時から午後4時まで

実施場所 大代地区公民館

対象 幼児～中学生

使用できる用具 卓球、バドミントン、サッカー、バレーボールなどのスポーツ用品や囲碁、将棋、トランプ、漢字博士などがあります。

○大代地区コミュニティ推進協議会主催の

「新年を祝う会」について

日時 平成26年1月11日(土)

午前11時から午後1時まで

場所 小野屋ホテル

会費 2500円

参加申し込みは、新年を祝う会のご案内チラシに付いている申込用紙にご記入の上、会費を添えて12月25日(水)まで、お申し込みください。

申込方法は、各区の担当者又は大代地区公民館窓口でお願いします。

なお、各区の担当者は、次のとおりです。

大代東区	白浜 宣子 (362-4588)
	鈴木 祐子 (364-4881)
大代中区	木村 好男 (364-1428)
大代西区	斉藤 静子 (367-1260)
大代北区	米澤 彰 (361-1856)
大代南区	田村 昭男 (364-9767)